



京成電氣軌道

日暮里青砥間線路新設工事に就て (二)

京成電氣軌道株式會社
建設部 部長 百 武 定 一

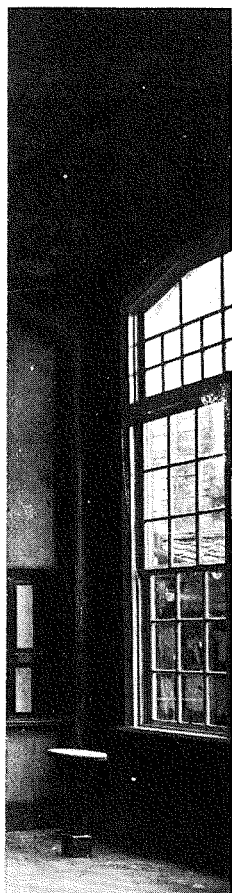
日暮里線工事は特に急速工事として、鐵筋コンクリート工事には淺野ペロセメント約8萬樽を使用し、尙他に秩父セメント約3萬樽を使用した。基礎は一般に不良で長60尺の松丸太を打込んだ處もあつた。

短日月の間に此の設計及び工事監督を遺憾なからしむるには、相當多數の技術員を要するのであるが、全員良く協力して僅に20餘人

を以て完成した事は、

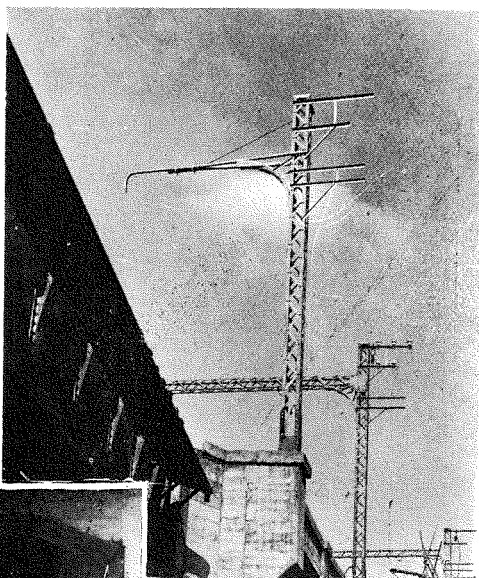
工事請負者も工事實施には多大の努力を拂ひ、非常な好成績で工事を完成した。殊に荒川放水路橋梁、徑間1,500呎の鋼構桁のエレシオンを三週間にして完成した如きは特筆すべきである。

本工事關係者は次の如くである。



←
(1) 高架線下を利用して設けられた町屋驛。

(2) 二柱式高架梁橋下部の出来上り。



(3) 橋梁部分のブラケット式電車線用鐵塔。

(土 木 工 事)

工 區 名	請 負 者	工事名又は延長
日 暮 里	大 林 組	1軒260米9
三 河 島	清 水 組	1軒515米2
荒 川	大 林 組	荒川橋梁
千 住	同	2軒403米
荒川放水路	同	綾瀬川橋梁
本 田	間 組	3軒.91米3

鐵 桁 製 作 工 事

使用區間	請 負 者	製作 疋 數
日暮里荒川間 荒川橋梁を含む	横濱船渠會社	1, 04疋
荒川青砥間	石川島造船所	2,320疋

(保安設備及線路砂利採集撒布工事)

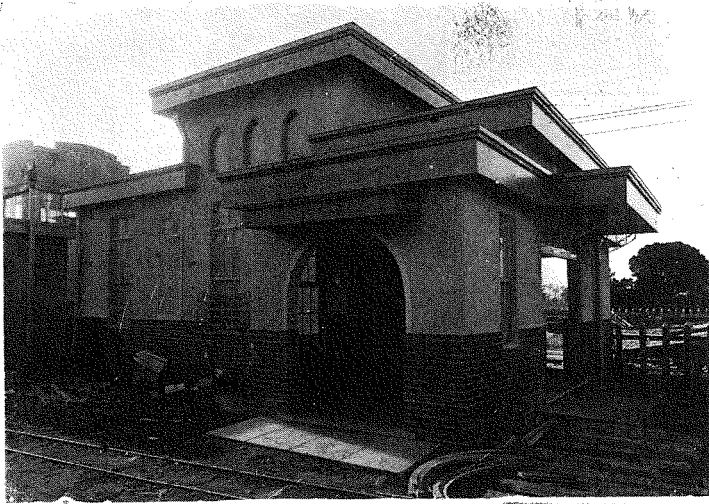
區 間	請 負 者	工 事 名
日暮里青砥間 同	大 同 信 號 東 武 砂 利	保 安 設 備 砂 利 採 集 撒 布

軌道の敷設は全部直營で施工した。

工期 着手 昭和五年七月十日

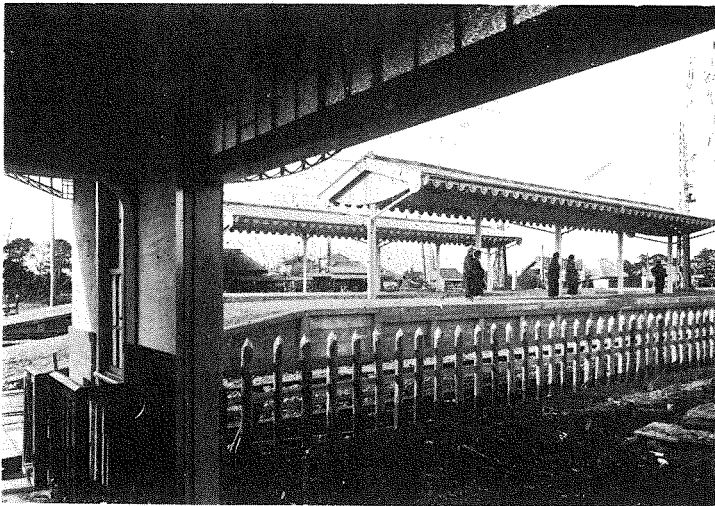
竣功 同 六年十二月十八日

京成電軌の日暮里線工事に就ては三月號に
工事概要設計圖、工事寫眞等十頁に涉つて掲
載した。本號と併せ讀まれたい。(編者)



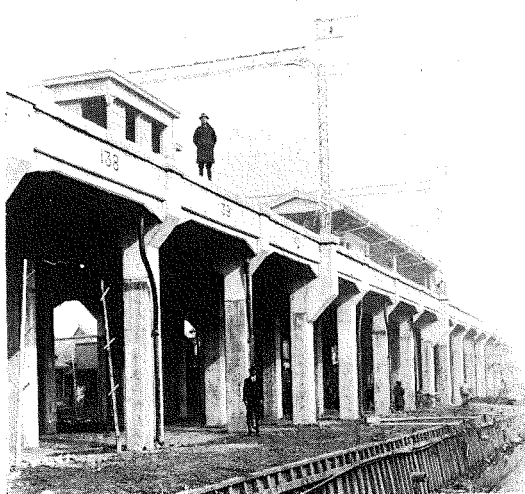
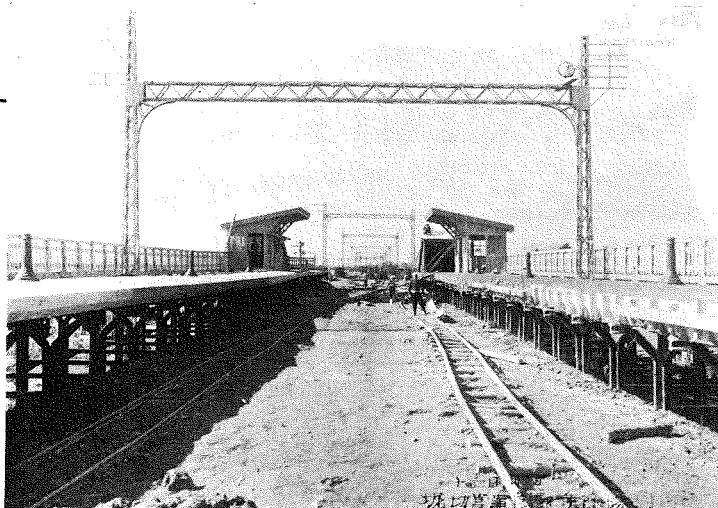
(4) 青砥驛本屋

(5) 隅田川貨物線から三河島
方面を望む。二柱式鐵筋
混凝土高架橋。



(6) 青砥驛乗降場。

→
(7) 堀切菖蒲園驛
乗降場、軌條
脚、混凝土床。



←
(8) 高架橋上の新三河島驛。

→
(9) 高架線下を利用した堀切菖蒲園驛本屋。

